

● 広報

おくび



2 0 1 8

2

NO. 760





～団子さし初体験～

学校法人角川ドワンゴ学園N高等学校（沖縄県うるま市）の生徒6人が、地域のしごとや生活文化を学ぶために1月11日から15日まで本町長者原地区を訪れました。本町では、マタギ文化や小正月行事などを体験しました。1月12日には、民宿奥川入で「団子さし」に挑戦。大きさや形がさまざまな個性あふれる団子をさし、1年の豊作を祈りました。

白い森杯柔道大会

進化を続ける白い森杯柔道大会 ～もてなしの心で柔道の力と技の集結地に～

2016年（第13回）大会最優秀選手賞に贈られた巨大テディベア。白い森杯柔道大会は常にサプライズが用意される。

小国町での 柔道の歴史

本町での柔道の取り組みを紹介しているのは、昭和33年2月15日に小国町柔道会が発足したことを掲載した広報おぐに48号（昭和33年2月15日）で、「かねて町の有志の間では柔道を普及して青少年の健全な心身の練磨をはかっている」とする話し合いがすすめられていたが、この程年来の努力が実を結んで、2月15日小国町柔道会の発足をみるにいたった。これは、いま小国高校で柔道の指導をやっております。

山形県と新潟県の両県庁所在地までそれぞれ約80キロメートルの地点に位置する本町の特性を生かして、柔道を通じた両県の人的交流とともに本町の地域おこしを目的に始まった「白い森杯柔道大会」。昨年の2017年大会で15年目を迎えました。また、今年は小国町柔道会が設立から60年という節目の年でもあります。今月は、本町における柔道界の歴史を振り返りながら、年々進化を続け町内外のさまざまなかたの協力をいただきながら取り組んでいる「白い森杯柔道大会」を紹介します。

れる菊地先生や大字岩井沢加藤吉弥氏などが、数年前から青年の奮起を促すには、柔道こそ最もふさわしいスポーツであるとその計画がすすめられていたもので、その後小国警察署に赴任された白田辰五郎氏や日本電興柔道部の方々など、積極的にこの計画をすすめた結果、晴れて小国町柔道会の誕生となったものである。」と記されています。

この年から、置賜地区市町対抗柔道大会が開催され、小国町チームは第1回、第2回と連覇を果たし、その後も第8回・第10回大会でも優勝しています。

【これまでの小国町柔道の歩み】

昭和33年 2月15日

小国町柔道会設立

昭和33年

第1回置賜地区市町対抗柔道大会で優勝

昭和34年

第2回置賜地区市町対抗柔道大会で優勝

昭和40年

第8回置賜地区市町対抗柔道大会で優勝

昭和42年

第10回置賜地区市町対抗柔道大会で優勝

昭和48年

第13回山形県中学校総合体育大会で小国中学校が団体優勝（男子）、第4回全国中学校柔道大会でベスト16、敢闘賞を受賞

昭和53年

第18回山形県中学校総合体育大会で小国中学校が団体優勝（男子）、小国中学校の今和昭さんが個人優勝（男子）

昭和54年

小国町柔道会第3代会長に 今 新一郎 氏

昭和55年

第1回町民柔道大会開催

昭和58年

第23回山形県中学校総合体育大会で小国中学校の渡部昌宏さんが個人優勝（男子）

平成14年

第22回町民柔道大会開催（合同練習会開催）

平成15年 11月15－16日

白い森杯柔道大会2003開催（第1回大会）

平成16年

小国町柔道会第4代会長に 多勢 信人 氏

平成25年

第36回東北地区中学校柔道大会で小国中学校の安部佳奈さんが3位入賞（女子44kg級）

平成26年

第56回山形県中学校総合体育大会で小国中学校の安部佳奈さんが個人優勝、東北大会で3位入賞、全国大会出場（女子44kg級）

平成27年

第57回山形県中学校総合体育大会で小国中学校の安部亜紀さんが個人優勝、東北大会で5位入賞、全国大会出場（女子44kg級）

平成28年

第58回山形県中学校総合体育大会で小国中学校の植原花梨さんが個人優勝、東北大会で5位入賞、全国大会出場（女子44kg級）

※県大会優勝以上の成績を記載

そして、小国町柔道会が設立から15年を迎えた昭和48年には、小国中学校柔道部が第13回山形県中学校総合体育大会の団体戦で優勝し、その年の第4回全国中学校柔道大会ではベスト16入りを果たし敢闘賞を受賞しました。さらに、近年では平成26年から3年連続で中学女子44kg級の同一階級において県大会を制するなど、現在に至るまでに個人や団体で県大会制覇や東北大会入賞など数々の成績を収めて

町民柔道大会

昭和54年に故今新一郎氏が小国町柔道会第3代会長に就任し、町民が広く参加できる大会を開催したいという思いから、昭和55年には町内の柔道愛好者たちが一堂に会して第1回町民柔道大会が開催されました。

第22回大会まで続けられ、試合形式は当初小学生から大人までを紅白に分けての対抗戦や職場や業種対抗の団体戦を行い、その後は子どもから大人までがオープンで対戦する個人戦などを中心に試合が行われてきました。

そして、小国町柔道会では第20回町民柔道大会をひとつの節目として、それまで中学校の部活動やスポーツ少年団が県内の各市町村をはじめ新潟県や福島県などに出向いて練習や試合をしてきた経験などから、小国町にさまざまなチームを招いて大会を開催してはどうかという話し合いが行われ、平成14年の第22回町民柔道大会に合わせ、置賜地域と新潟県下越地域の中学生合同練習会を実施しました。

合同練習会では、普段交流のない新潟と山形の子どもたち約200人が集結し、柔道を通じた交流がこうして小国町ではじまりました。

白い森杯 柔道大会が誕生

平成15年9月に行われた小国町柔道会の臨時会議の席上で、前年度に行った合同練習会を發展させて、新潟市と山形市の中間点にあるという小国町の特性を生かし、大人や子どもへの人的な交流を深めるとともに、小国町の活性化につなげるため、1日目に大会、2日目に合同練習会を行うという現在まで続く形の「白い森杯柔道大会」を開催することが話し合われました。大会を開催するにあたり、小国町柔道会以外の町内外の関係団体や企業などの協力を得るために、小国町柔道会を中心とした実行委員会を組織して進

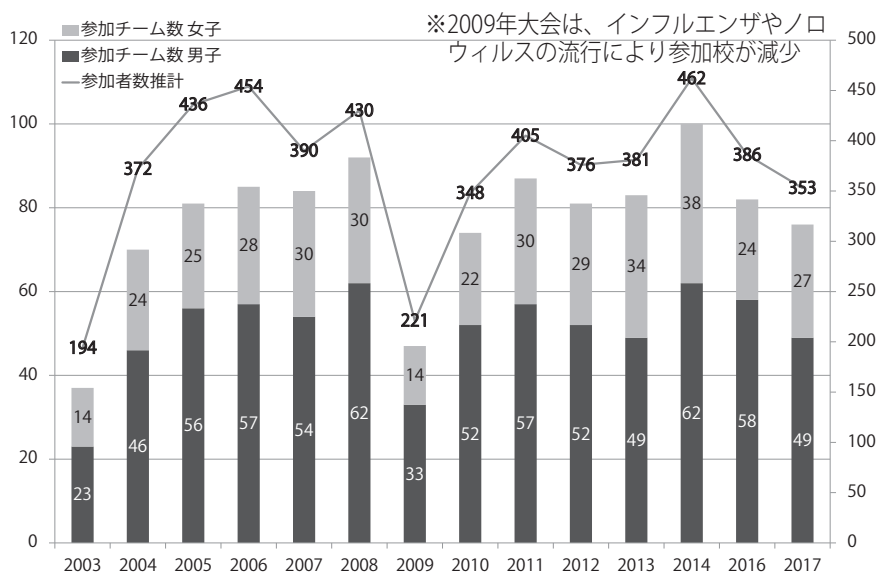


2003年（第1回）大会当時の試合会場は3面

めていくことになりました。そして、白い森杯柔道大会2003（第1回大会）が平成15年11月15日に男子23チーム、女子14チームの約200人が参加して小国町民総合体育館で幕を開けました。初大会のパンフレットには多勢信人大会会長（岩井沢）のあいさつとして「ここ小国町は、古くは米沢藩の西の守りの地として、また越後街道の物資の中継地としてその役割を担い続け、現在にいたるまで新潟県との交流が盛んな町です。また、小国町は両県の県都から県都までのちょうど

ど中間にありますので、いわば柔道の力と技の『集結地』としてその役割を果たすことができたと願っています。」と大会開催への思いが記されています。第1回大会は町民総合体育館大体育室に畳約240枚を敷きつめ、試合会場3面でスタートしました。その後回を重ねるごとに参加者数が増加したことで会場も徐々に広がり、第2回大会では4面、第3回大会では5面、第4回大会では6面と試合会場を増やしてきました。会場が6面になった際には、町内にある畳だけでは足りなくなり、飯豊町や川西町の柔道会などにも協力をいただきながら大会運営が進められてきました。

そして、現在では約80チーム約400人の中学生が本町に集結し、柔道を通じた新潟県と山形県の交流が行われています。小国中学校柔道部の主将を務める加藤総一くん（松岡）は、「この大会は町のさまざまなイベントの中でも大きな規模だ



白い森杯柔道大会参加チーム数と参加者数の推計



2005年（第3回）大会から県選抜対抗戦も行われている

千葉県の市原市立辰巳
台中学校も参加してい
ます。当時市原市立辰
巳台中学校の柔道部顧
問を務めていた現市原
市立姉崎中学校教諭の
塚原武聡さん（舟渡出
身）は「私を育ててく
れた小国町柔道会に何
か恩返しが出来ないか
と考えていました。車
中泊などをしながらの
参加でしたが、子ども
たちは11月の小国の寒
さと初めて見る雪にと
ても驚いていました。
また、合同練習会では
千葉県からの参加とい

と思いますし、新潟県や山形
県の人に小国町の良いところ
をたくさん伝えられるとても
いい大会だと思っています。
隣同士の県ですが、ウォーミ
ングアップやトレーニング方
法が全く違うのでこの大会を
通してとても勉強になります。
県内の大会で他県の人と対戦

することは無いですが、大き
な大会に行けば他県の人と対
戦することがあると思います。
初めてだと、柔道のやり方も
違いますので、他県の人と合
同で練習ができるというのは
とても大切です、これから
も大事にしていきたいと思い
ます。」と話してくれました。

うこともあり、多くの学校に
声を掛けていただいて練習を
することができ、とても有意
義な時間でした。県を越えて
選手が集まる大会は関東にも
あまりないですし、大規模な
大会だと感じました。こうし
た大会がふるさとで行われて
いることを誇りに思いますし、
今後とも続けてほしいと願っ
ています。参加することは難
しいですが、今後もできるこ
とを応援したいと思っています。
」と話してくださいました。

全ての参加者に 楽しみを

白い森杯柔道大会実行委員
会では、参加する選手、監督、
保護者などすべてのかたに対
するおもてなしの心を大切に
しながら、さまざまな企画を
町内のかたとともに用意し、
参加者を楽しませています。

これまでに、鼓友塾による
歓迎の和太鼓演奏や地元シン



2010年（第8回）大会に出場した市原市立辰巳台中学校（後列右が塚原武聡さん）

ガーソングライターによる大
会応援メッセージソングの披
露、特産品等の販売、豚の丸
焼き、農業振興公社の協力に
よる餅まきなどさまざまな催
しが行われています。

そして、2016年大会で
は前年度体育館の耐震工事の
ため中止になったことを受
け、大きなサプライズとして
最優秀選手賞として巨大デデ
イバアを準備したり、今年
2017年大会では木村屋菓
子店（小国小坂町）の協力を
いただきながら、ホワイトチ



2017年（第14回）大会の木製の優勝盾とチョコでできた会長賞の盾

ヨコレート1キロを使ったチョコの盾を会長賞として贈ったりするなど、参加した選手、監督、保護者が楽しめるような工夫が随所に織り交ぜられた大会となっています。

川西町立川西中学校柔道部の外部コーチを務める川西町柔道会会長の寒河江寿樹さんは、「私の娘も以前この大会に出場し、選手宣誓をしました。」

新潟のチームと交流する機会はありませんでしたし、県を越えて一緒に試合、練習ができることは素晴らしいことだと思います。会場には子どもたちが自由に食べられるようにお菓子などが置いてあったり、体育館の外ではさまざまな特産品などが販売されていたりして、子どもたちだけでなく保護者のかたも大変喜んでいました。この大会が、町の企業や商店など色々な人達の協力を得て開催していることがとてもうれしく感じています。また、交友のある新潟や山形の指導者とよく話になります。柔道を通して子どもたちの交流はもちろんですが、指導者や保護者が交流できるように懇親会なども準備してくれてとてもありがたく感じています。」と話してくださいました。

また、新潟県村上市立山北中学校柔道部の外部コーチを務める喜心館道場を主宰する本間喜一郎さんは、「白い森杯

柔道大会には初開催から参加しています。新潟と山形から選手が集まるので、対戦したことのないタイプの違う選手と試合ができるので大変いいと思っています。この大会は町の柔道関係者やOB、OG、保護者なども含め、町ぐるみで行われているという印象です。会場にはお菓子や飲み物が用意されていたりするなど、すごく細かいところまで行き届いていてあたたかい大会だと感じています。子どもや保護者のかたは、木の盾やメダル、オーダー柔道着等の特別賞などさまざまな企画がとても新鮮で面白いと言っています。そして、懇親会では小国ならではの熊汁なども用意していただいております、毎年それも楽しみにしています。」と話してくださいました。

町内経済へも波及

白い森杯柔道大会は初日に

試合、2日目に合同練習会を行うため、多くの選手や監督、保護者が町内宿泊施設等を利用します。大会当日は町内宿泊施設がほぼ満室になるなど大きな経済効果を生んでいる大会でもあります。2003年大会からこれまで約4千人のかたが白い森杯柔道大会によつて宿泊しています。

また、白い森杯柔道大会にちなんだ商品も生み出されています。木村屋菓子店ではこれまでシュークリームの生地に柔道の帯をまいた「柔クリーム」や縁起を担ぎかち栗の入った米粉まんじゅうを勝ち栗入り「まん柔」として販売をしています。まん柔は毎年白い森杯柔道大会の開催日限定で販売されており、リピーターや口コミによって広まり大会開催日には多くの人が訪れています。

木村屋菓子店主の佐藤潤一さん（小国小坂町）は、「白い森杯柔道大会が開催されることになり、小国に来た人を

特集 進化を続ける白い森杯柔道大会～もてなしの心で柔道の力と技の集結地に～



大会当日のみ木村屋菓子店で販売される勝ち栗入りまん柔

喜ばせようとする多勢会長の思いに賛同し、さまざまなアイデアをいただきながら商品化しています。米粉まんじゅうは、通常注文がなければ作らない商品ですが、白い森杯柔道大会開催日に販売する勝ち栗入り『まん柔』は、1日300個以上売れます。また、会場でも子どもたちが力ロリー補給できるようにと多勢会長からの依頼もあり、町内の他の菓子店と協力してクッキーなどを自由に食べられるようにしています。この大会が小国に来るひとつのきっかけになってもうえればいい

さらなる 進化を続ける

と思いますし、このように大規模な大会を大切にして今後でもできる限り協力していきたいと考えています。」と話してくださいました。

白い森杯と名前の付く大会は、現在では柔道大会のほかバレーボールや野球、剣道などにも波及し、柔道以外のスポーツでも県を越えた交流が行われています。

白い森杯柔道大会は、小国町柔道会やスポーツ少年団、保護者のOB、OGなどによる大会運営の協力、山形県や新潟県の各地区柔道連盟からの審判の協力、町内商店や企業、団体などによるもてなしの協力など多くの人の手によって支えられています。

大会会長の多勢信人さんは、「長野県菅平がラグビーの聖地であるように、小国町を柔道

の聖地にできればと思います、この大会が始まりました。大会では会場の設営準備を含め3日間、柔道部OB、OGや保護者などさまざまな人の協力の基に関係者が一体になれる大会だと感じています。大会に参加する子どもや保護者、監督など全ての人が小国を味わって楽しんでもらえて、運営側の我々も達成感を味わえる大会です。また2003年当初から全ての物を地元調達するオール小国のスタイルで行っています。この大会は、今後も進化させながら、柔道を通して小国を発信していけるようにしたいと考えています。そして、大会に出場した子どもが将来オリンピックに出場するようになればとてもうれしいですね。」と話してくださいました。回を重ねるごとにさまざま



優勝盾を手渡す多勢信人大会会長

な企画を生み出し、進化を続ける白い森杯柔道大会。その根底にあるのは、小国を柔道の聖地にしたいという思いと、参加する全ての人たちに最高の環境で柔道をして楽しんでもらいたいという実行委員会や町内関係者の思いの結晶なのではないだろうか。今年設立60周年を迎える小国町柔道会と白い森杯柔道大会のさらなる進化に期待したいものです。



白い森で熱戦を展開 ～白い森杯バレーボール交流大会～

白い森杯バレーボール交流大会実行委員会（鈴木正昭会長）が主催する「第11回白い森杯バレーボール交流大会」の小学生大会が1月13日に、中学生大会が1月20日、21日に町民総合体育館などを会場に行われ、新潟山形両県から33チーム約400人が出場しました。大会では、各チームが日ごろの練習で培ったレシーブやトス、アタックの息の合った3段攻撃を展開するなど、緊張感のある熱戦が展開されました。

大会は、おぐにバレーボールスポーツ少年団と長井北中学校がそれぞれ優勝しました。



企業と求職者をマッチング ～小国町合同就職面接会～



ハローワーク長井と町が共催する小国町合同就職面接会が、1月17日、白い森ショッピングセンターアスモで開催されました。これは、町内企業の人員確保を図る目的で町内で仕事を探しているかたを対象に開催されたもので、当日は日本重化学工業(株)小国事業所や荒川興業、道の駅など町内企業等9社が参加しました。会場では、求職者が各ブースを回りながら事業所の担当者から企業のことや仕事のことなどについて説明を受け、自分に合った職場を探していました。

守ろうよ 家族の笑顔 自分の未来 ～平成29年度防犯広報作品コンクール表彰式～

防犯広報作品コンクール表彰式が、12月21日、おぐに開発総合センターで行われました。

今年は、防犯ポスターと防犯標語計405点の応募の中から防犯ポスター1点、防犯標語6点の合計7点が小国町防犯協会長賞を受賞しました。また、本コンクールの上位作品を山形県防犯広報作品コンクールに出展したところ、防犯標語中学生の部で小国中学校1年の青木蒼空さんの標語「守ろうよ 家族の笑顔 自分の未来」が優秀賞を受賞しました。



○受賞者 小国小2年清水瑠依さん（前列左）、小国小6年塚原彩果さん（前列左から2人目）、小国小4年伊藤楓果さん（前列右から2人目）、小国小4年齋藤愛佳さん（前列右）、小国中1年青木蒼空さん（後列左）、叶水中2年野崎耕太郎さん（後列中央）、小国中3年加藤綾桜さん（後列右）

東北地方整備局管内では初めて ～地縁団体大字沼沢が道路協力団体に指定～

地縁団体大字沼沢（櫻井重恭総代）が12月22日付けで国土交通省東北地方整備局の「道路協力団体」の指定を受け、1月18日、山形河川国道事務所で指定書の交付を受けました。これに伴って、大字沼沢では国道沿いでの農産物販売などが可能になり、その収益を域内の道路清掃や交通安全指導などに充当できるようになります。

大字沼沢では、ワラビなどの山菜を中心に道路区域内で販売しながら、道路の美化活動に取り組んでいく予定となっています。



「初めての共同作業！」

地域おこし協力隊 ^{みやざき}宮崎 ^{みほ}美穂



ホワイトクリスマスとなった12月。協力隊4人と商工会の若者とでイベントを行いました。23日は根本君企画の「わらびサンタ」。ワラビーマンとワラヴィーナにサンタのコスチュームを着せて、早朝の小国駅やアスモでお菓子を配るというものです。着ぐるみの小道具作りに四苦八苦でしたが、駅を出る高校生やアスモのお客様に喜んでもらえて嬉しかったです。翌24日は山中君企画の「サンタがおうちにやってくる!」。あらかじめ預かっておいたプレゼントを持ってお宅訪問し、子ども達を驚かすという企画です。髭や白髪を作ってサンタの本物感を出すことに注力しました。子どもや親御さんに喜んで頂けたのに加え、手伝ってくれた役場の若い職員とも交流でき、素晴らしいイベントになりました。

「新股さいず焼き」

地域おこし協力隊 ^{ねもと}根本 ^{しゅんすけ}俊輔



水道が凍る。車が滑る。初めての小国の冬に苦戦しながらも、少しずつですが慣れてきました。しかし、これからが本番とのことなので、踏ん張って乗り切ろうと思います。

さて、僕の住んでいる新股で1月13日、五穀豊穡と無病息災を祈願するさいず焼きが行われました。僕も準備から参加させていただき、お餅を焼いて食べましたが、焼きすぎて焦げました。そしてそして、さいず焼きを早々に切り上げて、恒例の懇親会です！新股では、メインであるはずのさいず焼きより重視されています。（たぶん。）わらび園のことや年金の話題など、夜遅くまでいろんなことを話しながら、お酒もたくさんいただきました。

今年もみなさんと一緒に、元気に過ごしたいと思います！

羽越水害から50年

災害の爪痕をたどって その⑨

羽越水害において本町が陸の孤島と化した要因のひとつは国道113号の寸断。当時の建設省では、現地を視察調査した上、東北地方建設局山形工事事務所の出先機関として小国国道出張所を昭和42年10月1日に設置し、被害の大きい伊佐領小川橋から新潟県境までの区間を直轄で改良復旧にあたることを決めました。小国国道出張所では、災害復旧工事や第6次道路整備5カ年計画に合わせた改築工事を実施し、本町を閉ざされた社会から開かれた社会へと変化させたのです。

国道113号の改良工事は、新潟県村上市（旧荒川町）から山形県南陽市までの79・2km、総事業費162億4700万円を投じて完成したもので、トンネル14カ所、橋52橋、雪崩の危険箇所にはスノーシェードが設けられるなど、近代的な道路に生まれ変わりました。昭和50年11月1日には、多くの関係者を集めて国道113号の改良工事完了を記念して、開通式や祝賀会が行われました。

そして、難所続きの国道113号小国町区間の工事を終えた小国国道出張所は、昭和52年4月に9年6カ月という歴史に幕を下ろしたのです。



◀スノーシェードが設置される前の昭和46年当時の赤芝峡



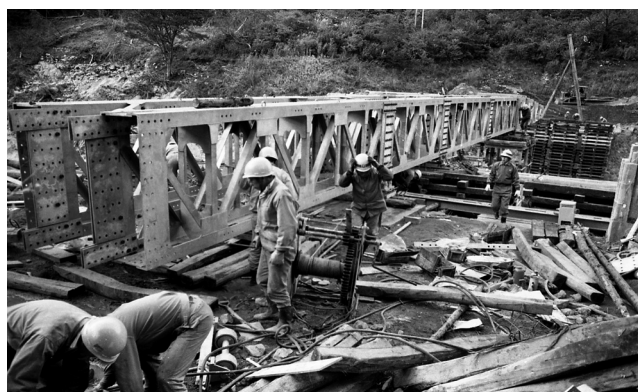
▲昭和50年11月11日に東芝セラミックス体育館で行われた国道113号坂町赤湯間開通祝賀式典



▲水害直後の国道113号赤芝地内



▲昭和44年9月17日横根山トンネル貫通



▲玉川口地内中の橋の工事の様子



▲昭和44年国道113号赤芝地内工事の様子



町・県民税申告相談を行います

2月6日(火)〜3月15日(木)

平成30年度(平成29年分)の町・県民税申告相談を行います。申告期限は3月15日(木)までとなっていますので、忘れずに申告してください。なお、申告には個人番号(マイナンバー)の記載と本人確認(個人番号と身元の確認)が必要です。

町県民税の申告が必要なかた

申告が必要なかたは、「平成30年1月1日現在で、小国町に居住されているかた」です。ただし、次に該当するかたは、町・県民税申告書の提出を省略することができます。

▽税務署に確定申告書を提出したかた

▽年末調整済みの給与収入のほかに収入のないかたなど

※申告書が送付されていないかたでも、平成29年中に収入があったかたや年末調整済みの給与以外に所得があったかた、各種所得控除を受けたかたなどは、申告の必要があります。

平成29年中まったく収入がなかったかたは?

申告書の職業欄に「収入なし・学生等」、所得金額の合計欄に「0」を記入し、氏名欄に押印のうえ提出してください。

特に、次のようなかたは忘れずに申告してください。

▽国民健康保険加入者または加入予定者及びその世帯主

▽後期高齢者医療保険加入者及びその世帯主

▽介護保険加入者及びその世帯のかた

▽国民年金免除申請をお考えのかた

▽所得や税関係の証明書が必要なかた

申告に必要なもの

※障害年金や遺族年金は町・県民税の算定には含まれないため、申告する収入、所得金額に記載しないようにご注意ください。この収入のみのときは、収入なしと申告してください。

(1)申告書及び印鑑

(2)個人番号カードまたは番号確認の書類と身元確認書類(ご自分で記載した申告書を郵送または窓口で提出する際は、それぞれの写しが必要です。)

◇個人番号カード(マイナンバーカード)をお持ちのかたは個人番号カード(顔写真入)

◇個人番号カードをお持ちでないかたは①及び②の書類。

①番号確認の書類

個人番号通知カード等の個人番号を確認できる書類

②身元確認書類

運転免許証、公的医療保険の被保険者証等の本人であることと確認できる書類

③収入と支出が確認できる書類

給与・公的年金所得

平成29年分の源泉徴収票

◇営業・不動産所得

収支内訳書、売上や仕入れの帳簿類、必要経費の領収書など

◇農業所得

収支内訳書、農産物の出荷伝票、仕切書、領収書、借入金利子証明書、新しく購入した農機具などに関する書類、補助金、交付金、保証金等の収入が確認できる書類、取扱い通帳など

◇雑所得・一時所得

支払証明書や通帳など収入金額が確認できる書類

◇譲渡所得

売買契約書や経費の領収書、公共事業による売買の場合は3枚組の収用証明書

(4)所得控除を受ける場合に必要となる各種証明書や領収書、支払金額を証明する書類など

(5)通帳など申告者本人の講座が確認できる書類

2月6日(火)は「収入が年金のみ」のかたの相談日です

年金以外に収入があるかたは、地区の相談日等にお越し下さるようご協力をお願いいたします。

平成30年度（平成29年分）町・県民税 申告相談受付日程

月 日	相談会場	午 前		午 後	
		受付時間	地 区	受付時間	地 区
2月6日 火	役場大会議室	9時～11時	全地区（年金収入のみのかた対象）	1時～4時	全地区（年金収入のみのかた対象）
2月7日 水	役場大会議室	9時～11時	小国町1・2	1時～4時	坂町1・2
2月8日 木	役場大会議室	9時～11時	緑町1	1時～4時	緑町2
2月9日 金	役場大会議室	9時～11時	駅前1・2	1時～4時	栄町1・2
2月13日 火	役場大会議室	9時～11時	上岩井沢	1時～4時	幸町2
2月14日 水	役場大会議室	9時～11時	本町3、幸町1	1時～4時	本町1・2
2月15日 木	役場大会議室	9時～11時	地蔵町	1時～4時	坂町3・5
2月16日 金	役場大会議室	9時～11時	町原	1時～4時	東原
2月19日 月	役場大会議室	9時～11時	あけぼの	1時～4時	松岡
2月20日 火	役場大会議室	9時～11時	旭町、小芦	1時～4時	北、西
2月21日 水	役場大会議室	9時～11時	綱木箱口	1時～4時	伊佐領
2月22日 木	役場大会議室	9時～11時	平林	1時～4時	増岡
2月23日 金	役場大会議室	9時～11時	種沢	1時～4時	大滝
2月25日 日	役場大会議室	9時～11時	休日相談	1時～4時	休日相談
2月26日 月	役場大会議室	9時～11時	岩井沢2	1時～4時	岩井沢1
2月27日 火	役場大会議室	9時～11時	兵庫館1	1時～4時	兵庫館2
2月28日 水	役場大会議室	9時～11時	田沢頭	1時～4時	大宮、宮の台
3月1日 木	役場大会議室	9時～11時	今市	1時～4時	館
3月2日 金	役場大会議室	9時～11時	小渡	1時～4時	若山、古田、金目
3月5日 月	役場大会議室	9時～11時	尻無沢	1時～4時	舟渡
3月7日 水	旧白沼小中学校	9時30分～11時	白子沢、桜沢、間瀬、明沢	1時～3時30分	沼沢1・2
3月8日 木	梅花皮荘	9時30分～11時	小玉川、泉岡	1時～3時30分	長者原、玉川中里
3月9日 金	水源の郷交流館	9時30分～11時	上叶水、下叶水	1時～3時30分	新股、河原角、上大石沢、下大石沢
3月12日 月	玉川コミュニティセンター	9時30分～11時	玉川、玉川新田	1時～3時30分	中田山崎、片貝
3月13日 火	足中克雪センター	9時30分～11時	足水中里、樽口	1時～3時30分	足野水、市野沢、百子沢
3月14日 水	越中里公民館	9時30分～11時	越中里、長沢	1時～3時30分	六ヶ字
3月15日 木	りふれ	9時30分～11時	三ヶ字、石滝	1時～3時30分	五味沢

申告に関する相談が必要な場合は、できるだけお住いの地区相談日にお越しくださるようご協力をお願いします。なお、お住いの地区相談日にご都合がつかないときは、他の地区の相談日にお越しいただいても差し支えありませんが、休日相談日や最終日など日によって混み合う場合もありますのでご了承ください。

3月6日(火)は、出先相談会場に向けたシステムの切り替えのため、申告相談ができませんのでご注意ください。

～申告期限は3月15日(木)です～

◆◆◆ 問合先 町民税務課税政管理室（☎62-2403）へ ◆◆◆

みんなで投票！

一緒に白い森の未来をつくりましょう。

白い森まるごとブランドプロジェクトチームでは、小国町のイメージを共有し、町内外に広くPRするためのブランドストーリーづくりに取り組んできました。

この度、3つの候補を考案しましたので、小国町をイメージするのにふさわしい、自分が共感できるストーリーはこれだ！と思うものをA・B・Cの3案から一つ選んで投票してください。町民総選挙により決定したストーリーは、白い森ブランドを推進するための様々な場面で活用していきます。

彩りゆたかな白い森

A

飯豊連峰と朝日連峰にはさまれ
ひろいひろいブナの森に囲まれた町
山形県小国町。

冬になると、そこは
しんと降りつもる雪が
あたり一面を埋め尽くす
寒さきびしい白い森。

夏になると、そこは
白い木肌のブナが
涼しげに佇む白い森。

この2つの白を引き立てるのが
濃く、淡く、ピンク色に咲き乱れる石楠花
エメラルドグリーンにきらめく川
赤やオレンジに染め尽くされた紅葉のパノラマ
黄金色に輝く大銀杏

ほかにも数えきれないくらいたくさん
の色。色。色。

どこまでも澄んだ空気のなか
白いキャンバスと天然の絵の具がつくりだす
絵画のような絶景は
いまどんな表情をしているのでしょうか。

きびしい冬の、あったかい町。

B

奥深い山々、広大なブナの森。
しんと降り続ける雪…
冬の小国町は、真っ白な雪に覆われた白い森。
「小国の冬はきびしい」
町の人々は誰もがそう言います。

しかし、
きびしさを受け入れ、自然とともに暮らし、生きる。
この精神こそが
マタギに代表される山の神に感謝する特有の文化を
そして、隣人と助けあう温かな心を育んできました。

「雪は天からの恵み」
「雪からすべてがはじまる」
「森に生かされている」

その言葉どおり、冬の間に降りつもった雪は
春になると清らかな雪どけ水となって大地を駆けめぐり
豊かな山の幸・川の幸を
圧倒的に美しい四季の彩りを
小国の町にもたらしてくれています。

この町は、きびしく・美しく・温かい。
白い森の国、おぐに。

水からはじまる白い森

C

朝日・飯豊連峰の雄大な山並みに囲まれた
山形県小国町。

名前は小さくても、とにかくおっきな町。
だって東京23区よりも広いのですから。
でも、そのほとんどは
ブナをはじめとした広葉樹林の森。

小国は日本有数の豪雪地帯。
冬にこれでもか！というほど雪を降らせて
町全体を「白い森」に変えてしまいます。

春になると清らかな雪どけ水となって大地をうるおし、
森の木々に季節の彩りを与え
おもわず息をのむほどの絶景を次々と生み出します。
植物や動物たちはいきいきと命を育み、
澄んだ空気と豊かな恵みをわたしたちへ…

きれいな空気も、おいしい山の幸も、みんなみんな
はじまりは1滴の雪どけ水から。

■投票期間

2月15日(木)まで

■投票場所

白い森ショッピングセンターアスモ
小国町役場
町ホームページ

投票はこちらから



■対象者

小国町に関係するすべてのかた（小国町在住、小国町出身、小国町が好き等）

■問合せ先

総務企画課白い森ブランド戦略室
（☎87-0821）へ



渡部甚作さん（玉川）が、瑞宝単光章を受章しました。渡部さんは、昭和47年に統計調査員に任命されて以来国勢調査を9回、農林業センサスを9回、住宅土地統計調査を4回など、多くの統計調査に従事されました。

また、町統計調査員協議会の会員として、統計思想の啓蒙普及に積極的に取り組むなど、統計調査に大きく貢献されました。

渡部甚作さん（玉川）が
瑞宝単光章を受章

防災ラジオに関するお知らせ ■問合せ 総務企画課情報危機管理室（☎62-2112）へ

防災ラジオのAM・FM登録チャンネルの設定変更について

AM・FMラジオのNHK第1（AM）、NHK-FM（FM）について、登録チャンネルで受信できない場合は、設定を変更することで受信可能になる場合があります。申告相談の日程に合わせ以下の通り設定変更を行いますので、お手数をおかけいたしますが、お近くの会場まで防災ラジオを持参くださるようお願いいたします。

期 日	時 間	場 所
2月6日(火)から 3月5日(月)までの平日	8：30～17：15	役場2階ロビー 申告相談受付脇
2月25日(日)	9：00～16：00	
3月7日(水)	9：30～11：00 13：00～15：30	旧白沼小中学校
3月8日(木)		飯豊梅花皮荘
3月9日(金)		水源の郷交流館
3月12日(月)		玉川高齢者コミュニティセンター
3月13日(火)		足中克雪センター
3月14日(水)		越中里公民館
3月15日(木)		白い森交流センターりふれ

※上記は、申告相談と同様の日程・会場で実施します。
※上記日程にかかわらず、役場窓口で平日8：30から17：15まで設定変更を受け付けています。
※AM/FMラジオの受信環境は、これまでと変わりません。地形によっては、山間部などで受信できない地域もございますのでご注意ください。

入札結果情報（平成29年12月21日～平成30年1月20日実施） 単位(円)

入札日	工 事 名	施行場所	工期（完了）	予定価格	落札業者	落札価格
H29.12.21	平成29年度町岩地区導水路 落雪防止梁設置工事	町原	H30.2.23	2,437,000	斎藤建設(株)	2,400,000
H29.12.21	平成29年度田ノ沢川護床工事	小国小坂町	H30.1.31	2,936,000	斎藤建設(株)	2,900,000
H29.12.26	平成29年度農地耕作条件改善事業 新股揚水機整備工事	新股	H30.3.15	7,400,000	大和建设運輸(株)	7,100,000
H30.1.11	平成29年度農地耕作条件改善事業 種沢用水路整備工事	種沢	H30.3.15	5,754,000	安部工業(株)	5,700,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。

募集

県営住宅入居者募集

■募集住宅 3DK 7戸

■家賃 所得により決定

■対象

入居世帯の所得制限あり

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期間

2月1日(木)～2月7日(水)

■入居時期 3月下旬

■申込先 置賜総合支庁西庁

舎(長井市) 総合案内窓口

■問合先 県営住宅指定管理者

(株)西王不動産置賜事務所(☎

0238・24・2332)へ

町営住宅入居者募集

①町営住宅小坂町団地

3DK 1戸(4階)

■家賃 所得と家族構成による

■その他 所得制限あり

②あけぼの高齢者団地

1LDK 1戸(1階)

■家賃 所得と家族構成による

■対象

▽世帯所得が21万4千円以下

で住宅に困っているかた

▽60歳以上のかたで自立した

生活をおくることができ、同

居するかたが配偶者または60

歳以上の親族であること

③小坂町勤労者住宅

2DK 1戸(3階)

■家賃 38000円

■対象 町内事業所にお勤めのかた

①③共通

◎敷金 家賃の3カ月分

◎募集期限 2月13日(火)

◎入居時期 2月下旬以降

◎問合先 地域整備課建設管

理室(☎62・2431)へ

ご案内

小国町競争入札 参加資格審査申請受付

小国町が行う建設工事、測

量・建設コンサルタント、物

品、役務の競争入札に参加を

希望するかたは、次のとおり

申請してください。

■受付期間 2月28日(水)まで

■受付時間 9時～12時

13時～16時

■有効期間 平成30年度(町

内業者のみの受付)

■申請方法 必要書類などの

詳細については、電話また

は町のホームページでご確

認ください。

■受付・問合先

地域整備課建設管理室(☎

62・2431)へ

お知らせ

平成30年度小国町日々雇用職員の
登録受付について

町では、日々雇用職員とし

て役場での勤務を希望するか

たの登録を受け付けます。

■職種 一般事務補助員・一

般技術補助員・自動車運転

手・学校用務員等

■勤務時間(原則)

月曜日～金曜日

午前8時30分～午後5時

■登録方法 「小国町日々雇用

職員登録申請書」を総務企

画課に提出してください。

■申請書 町ホームページま

たは総務企画課で配布して

います。

■採用 登録されたかたの中

から選考を行い採用します。

ただし、全てのかたが採用

されるとは限りません。

■登録締切 2月15日(木)

※年度途中の登録について

は、これ以降も随時受付し

ます。

■申請・問合先

総務企画課行政管理担当(☎

62・2112)へ

イノシシの狩猟期間が
延長されます

山形県では、イノシシによ

る農林業被害の軽減及び生態

系被害の防止を図るため、イ

ノシシに限り狩猟期間の終期

が2月15日から3月31日に延

長されました。冬期間に作業

等で山野に入る場合は、迷彩

服などではできるだけ避け、目

立つ色の服を着用するなどの

ご協力をお願いいたします。

■イノシシ狩猟期間

11月15日～3月31日

■問合先 置賜総合支庁保健

福祉環境部環境課(☎

0238・26・6035)へ

2月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■4カ月児健診

- ・期 日 2月23日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成29年10月生まれ

■1歳児健診

- ・期 日 2月23日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成29年2月生まれ

■2歳児健診

- ・期 日 2月21日(水)
- ・受付時間 13:00~13:15
- ・対 象 平成27年6月、7月、8月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他

母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

■2月の広場日程

広場名称	曜日	時間	申込
なかよし広場	月~金	9:30~11:30・13:00~15:30 (水・金は午後のみ)	不要

■対象者 なかよし広場 就学前のお子さんとお家のかた

■その他 平日はいつでも子育て相談に応じています。また、白百合保育園(水曜午前)、すみれ保育園(金曜午前)でも同様の場所を設けています。詳細は各保育園にお問い合わせください。

■問合先 子育て支援センター(おぐに保育園内 ☎62-2330)・白百合保育園(☎62-2436)・すみれ保育園(☎62-5284)

休日当番担当歯科医のお知らせ

2月4日(日)	米沢 近野歯科医院	0238-23-1187
2月11日(日)	高畠 わたなべデンタルクリニック	0238-56-3888
2月12日(月)	白鷹 岩崎歯科医院	0238-85-2003
2月18日(日)	米沢 長谷部歯科医院	0238-22-8110
2月25日(日)	南陽 いとう歯科クリニック	0238-50-0418

求 人 情 報

右の表は1月19日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。
求人情報の詳細については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

今月の納税 2018.2

2月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

- 2月26日(月) 水道料
- 2月28日(水) 国民健康保険税・後期高齢者医療保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事業所名	職種	求人数	勤務時間
国土交通省北陸地方整備局 飯豊山系砂防事務所	(臨) 事務補助	1人	8:30~17:15
(株)TTM仙台支店	(派) 装置部品の加工・検査	4人	8:20~16:50他
(株)高橋商会	ガソリンスタンドスタッフ	1人	8:00~17:00他
(有)東部開発	農作業員	1人	8:00~17:00
第一ホール小国店 (有)コンズカンパニー	ホールスタッフ	1人	8:30~16:15他
	ホールスタッフ【パート】	2人	
遠藤建設(株)	土木施工管理技士	1人	8:00~17:00
	一般作業員	2人	
斎藤建設(株)	一般作業員	2人	8:00~17:00
(株)山芳工務店	電気設備工	3人	9:00~18:00
(有)三栄自動車工業	自動車整備士	2人	8:30~17:30
(株)横川建設	配送運転手	1人	8:00~17:00
	営業(見習い可)	1人	
	事務員	1人	
	現場管理(1級又は2級土木施工管理技士)	1人	
	作業員	2人	
	自動車整備工	1人	
	重機オペレーター見習い	2人	
安部工業(株)	一般作業員	1人	8:00~17:00

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

※町ホームページに求人情報を掲載しています。

長井税務署確定申告期のお知らせ

長井税務署では、2月16日(金)から長井税務署内申告書作成会場を設置します。

■確定申告相談会場の開設期間（土日除く）

2月16日(金)～3月15日(木)

申告期限が近づくと大変混み合いますので、早めの申告をお願いします。また、国税庁のホームページ「確定申告書等作成コーナー」もぜひご利用ください。

※譲渡所得や贈与税については、担当者が不在になる日がありますので、事前にお電話にて確認をお願いします。

■問合先

長井市四ツ谷1丁目7番15号

長井税務署（☎0238-84-1810）へ

奨学金の貸与を受けている若者の 本町回帰を支援します

町では、若者の本町回帰・定住を促進するため、山形県と連携して、奨学金の貸与を受けている大学生等に対し、奨学金の返還支援事業を実施いたします。

■対象者 ①町内に居住し、県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を今年度卒業見込みである者、または卒業した者で、②国内に所在する大学等に来年度進学予定、または在学中で、③日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けている、または受ける予定である者

■助成内容 大学等を卒業後、6カ月以内に町内に居住して県内に就業し、かつ3年以上居住、就業を続けた場合に、奨学金返還残額に対して助成します。

※上限額があるほか、この他にも条件がありますので、応募の際にはお問い合わせください。

■応募期間 平成30年2月20日(火)まで

■問合・応募先

総務企画課政策企画担当（☎62-2264）へ

総合センター図書室から

～新着図書～

◇ふたご

◇琥珀の夢

◇生前贈与の基礎知識

◇君たちはどう生きるか

◇友情

休館日 毎週月曜日・祝日

藤崎 彩 織

伊集院 静

鈴木 和 宏

吉野 源 三 郎

山中 伸 弥

相 談

▽年金相談

■日 時 2月21日(水)
10:30～14:00

■場 所 役場

■対応者 米沢年金事務所職員

■その他 事前に申込みが必要です。

■申込・問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

■日 時 2月21日(水)
10:00～12:00

■場 所 アスモ街なかギャラリー

■対応者 町人権擁護委員

■問合先 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談

■日 時 2月24日(土)
10:00～12:00

■場 所 役場

■対応者 司法書士 舟山健蔵氏

■その他 事前に申込みが必要です。

■申込・問合先 町民税務課町民生活担当へ

▽行政相談

■日 時 2月3日(土)
10:00～12:00

■場 所 役場

■対応者 行政相談委員 齋藤恒助氏

■問合先 町民税務課町民生活担当へ

公立置賜総合病院「非紹介患者 初診加算料」の変更について

現在公立置賜病院では、病院と診療所の機能分担をより一層進めるため、他の保険医療機関等からの紹介がなく直接来院された患者さんからは、非紹介患者初診加算料として1,620円（税込）をいただいておりますが、平成30年4月1日より、3,240円（税込）に変更いたします。

日頃から健康状態や持病などを相談できる「かかりつけ医」を持ち、専門的な治療が必要な場合は、紹介状をお持ちになり受診してくださるようお願いします。



- 小国町役場 ☎62-2111(代)fax62-5464
- 行政管理室・情報危機管理室 ☎62-2112
- 企画財政室 ☎62-2264
- 白い森ブランド戦略室・移住定住促進室 ☎87-0821
- 国保医療担当 ☎62-2261
- 住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260
- 税政管理室 ☎62-2403
- 商工観光室 ☎62-2416
- 農林振興室 ☎62-2408
- 会計室 ☎62-2406
- 建設管理室 ☎62-2431
- 建設技術室 ☎62-2432
- 議会事務局 ☎62-2448



戸籍のまど

(1 2 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

小 国 町 仁 科 碧 友 (憲 治 友 香 里)

結婚おめでとうございます。

(新 庄 市 笹 直 人
岩 井 沢 柴 田 彩 佳)

おくやみ申し上げます。

栄 町	伊 藤	明 雄	(82)
栄 町	山 北	初 子	(83)
北	木 村	久 子	(66)
小 国 町	嶋 貫	ハツ子	(78)
百 子 沢	渡 邊	コノイ	(87)
幸 町	舟 山	一 夫	(82)
緑 町	藤 川	糸 い	(100)
大 宮	遠 藤	タイ子	(93)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成29年12月31日現在)

人口	男・・・	3,858 人	(一 1)
	女・・・	3,921 人	(一 8)
	計・・・	7,779 人	(一 9)
世帯数		3,076 世帯	(一 2)

編集後記

1月下旬、都内でも積雪を記録するなど、日本列島には寒波が到来しました。本町は、例年と同様に雪が降り、毎朝、道路を横断してスクールバス乗り場に集まる子ども達のために、歩道と車道の間に積まれた雪を除去している地域のかたを見かけます。何気ないかたも雪の日も毎朝欠かさず、雨の日のように見守ってくださる地域のかたがたの温かい心や、垣間見える光景を育てられるとてもいい環境だと感じました。(斎藤)

2月の あいイベント

ゴルフ教室～シーズン前の練習に～

- 日 時 2月17・24日(土)
18:00～20:00
- 対象者 どなたでも(初心者も歓迎)
- 持ち物 室内シューズ、飲み物、ゴルフクラブ
- 参加費 1人100円(保険料込)(17日は健康福祉課運動習慣推進事業のため無料)
- その他 ゴルフクラブのないかた、お貸しします。
- 申込締切 2月15・22日(木)
- 申込・問合先 おぐにYui
(☎62-5808) 



☆☆☆☆お知らせ☆☆☆☆

特定非営利活動法人おぐにスポーツクラブYuiでは、地区やサークルの健康教室のお手伝いをしています。お気軽にご相談ください。

第23回 雪の学校



- 日 程 3月3日(土)～4日(日)
- 内 容 マタギと森のハイキング(メープルサップ採取体験、ウサギ追い体験他)、火まつり、交流会など
- 定 員 50人
- 参加費 大人16,000円、小学生以下8,000円
- 宿泊場所 白い森交流センターりふれ
- 問 合 先 「雪の学校」実行委員会
(小国町観光協会内)(☎62-2416)へ

マタギの里小玉川 雪まつり

- 日 程 3月10日(土)～11日(日)
- 内 容 [場所：旧小玉川小中学校周辺ほか]
- 10日 13:00～ さいず焼き準備ほか
18:30～ さいず焼き、交流会など
- 11日 8:30～ スノートレッキング(2コース)
10:00～ 雪の中の大冒険(雪の迷路、スノーモービルなど)
- 定 員 でべそ山コース6人・樽口峠コース20人
- 参加費 スノートレッキング・交流会4,000円、スノートレッキングのみのかた2,000円・雪の中の大冒険は無料(ただし、スノーモービルは500円)
- 申込締切 3月7日(水)(スノートレッキングのみ)
- 申込・問合先 小玉川地区自整協(☎/FAX64-2008)へ
※電話の受付は(火)木と金曜午前のみとなります。

シリーズ

地域のブランド化とは

その⑨

おもてなし

町では、今年度新たに白い森ブランド戦略室を設置し、白い森まるごとブランド構想を推進していく体制を構築しました。白い森ブランド戦略室では、町民の皆さんと一体となって「白い森まるごとブランド構想」を進めるため、白い森ブランドストーリーづくりやロゴマークを活用した認知度向上のための取り組みなどとあわせて、「白い森まるごと塾」を開催しています。

昨年11月21日の1回目は、元日本航空客室乗務員で現在アスクE・S先任講師の渋谷寿子さんを講師に招いて、笑顔やあいさつ、言葉遣いなどの接遇の基本に関する講座「あなたの気づきが…おもてなし！」を開催しました。

講座では、「マナーは作法（形）と礼法（心）が調和したものであり、サービスとはマニュアル化されたひとつひとつの動きである。これが満



アスクE.S 渋谷寿子さん
長井市出身
元日本航空客室乗務員
特定非営利活動法人日本話しことば協会講師

たされていけば不快感を与えないが、お客様一人ひとりのニーズが異なるためおもてなしが大切になってくる。おもてなしとは、お客様に興味を持って、お客様が求めているものに気づくことであり、それによって心が通い合い、また行きたいと思うようになる。また、第一印象はとても大切で、見た目で良い印象を与えることが重要。良い印象を与えるポイントは、笑顔で安心感を与え、目と目を合わせることで信頼感を得て、あいさつにより相手に関心があるというシグナルを送ること。そして、身だしなみを整えて清潔感を身につけることである。」など、おもてなしの心について話されました。

地域のブランド化とは、本町を訪れた人に「来てよかった」、「また来たい」と思ってもらえるようになること、そ



状況に応じたお辞儀の練習をする参加者

して他から選ばれる町になることでもあります。

町民の皆さん一人ひとりのおもてなしの心、これこそが「白い森ブランド」であり、その心がおお客様の心に響いて広がっていくことが、本物の地域ブランドと言えるのではないのでしょうか。